

令和3年7月29日

報道機関 各位

## 水田生態系を調べて、SDGs を考える ～ひみラボを活用した高大連携活動～

水田生態系におけるフィールドワークと、ひみラボ（富山大学理学部・氷見市連携研究室）における生物観察や座学を通して、SDGs を考える高大連携活動を開催します。

私たちの生活に不可欠なお米を作る場であると同時に、野生生物にとっても重要な生活の場である水田生態系において、生物採集や景観学習のフィールドワークを実施します。また、ひみラボにおいて、採集した生物の種同定や形態観察を行います。そして、人間生活を含めた水田生態系における生物多様性、資源の持続的活用や循環をテーマにした座学を通して、参加者全員でSDGsを考えていきます。

富山大学理学部の山崎裕治准教授と大学生が講師を務め、氷見高校探究活動との高大連携活動を実施します。

つきましては、取材・報道方どうぞよろしくお願いいたします。

### 【スケジュール・内容】

8月2日（月）

午前10時～ 十二町潟水郷公園周辺（富山県氷見市十二町）

生物（魚類、プランクトン）採集、景観学習

午前12時～ ひみラボ（富山県氷見市惣領1927）

採集した生物の観察、座学、ディスカッション

※取材に際しましては、マスクの着用等、感染症対策へのご配慮をお願いいたします。

【本件に関する問い合わせ先】  
富山大学 理学部（准教授・山崎裕治）  
TEL. 076-445-6642